



いいで町

195号

議会だより



14年ぶり獅子の共演



めざまの里まつり2024

9月定例議会



携帯・スマホからアクセス!

9月定例会 民間医院への支援を決定 P 2~3

令和5年度決算概要 将来負担率は改善傾向
..... P 4~5

一般質問 8名の議員が町政を問う P 10~14

特集 女性との懇談会報告 P 16~17

総務文教・産業厚生常任委員会 P 18~19

とし補正予算を可決

※詳細はP3に記載

一般会計補正予算（第4号）は 7月25日豪雨災害の復旧を中心に編成へ

主な歳入

・ 地方交付税	3312万円
・ 国内肥料資源利用拡大対策事業県補助金	644万円
・ 畑地化促進事業費県補助金	388万円
・ 小規模農地等災害緊急復旧事業費県補助金	2075万円
・ 林道等小規模災害緊急復旧事業費県補助金	143万円
・ 公共土木災害復旧事業債（町債）	3680万円
・ 農林施設災害復旧事業債（町債）	2210万円

主な歳出

・ 国内肥料資源利用拡大対策事業補助金	1711万円
・ 畑地化促進事業費補助金	388万円
・ 緑地等利用施設修繕料	418万円
・ 消防施設等整備事業工事請負費	865万円
・ 農業用施設災害復旧業務委託料	3225万円
・ 農地等災害自力復旧支援事業費補助金	2000万円
・ 林道単独災害復旧事業委託料	2340万円
・ 道路橋梁単独災害復旧業務等委託料	4855万円

一 概要 一

令和6年9月定例会は、9月3日から13日までの11日間の会期で開催され、一般質問は8名が、2日間にわたり町政をたどりました。

3日目の議案審議では条例・規約の改正・変更が2件、一般会計補正予算（第4号）を含む各特別会計補正予算9件について審査しました。審査の結果、補正予算（第4号）は議員発議で修正案を提出し可決、他各補正予算は原案のとおり可決しました。また、令和5年度会計決算認定13案件を一括上程し、決算特別委員会に審査を付託しました。

4日目以降は、総務文教・産業厚生各常任委員会において所管事務調査を行い、決算特別委員会において、決算について審査を行いました。

最終日には、令和5年度会計決算認定13案件を認定し、追加提案された一般会計補正予算（第5号）を原案のとおり可決し、人事案2件に同意しました。

表紙の説明

●子ども議会の提案を実現した獅子の共演

9月7日町民総合センター「あす」を会場に、めぐみの里まつりが開催されました。昨年、町制施行65周年を迎え、記念行事として行われた「いいで子ども議会」を開催した際に、当時の小学生議員2名から、獅子舞をきっかけに地元に戻ってくる若者が増やし、人口減少に歯止めをかけた。さらに、五穀豊穰・家内安全・無病息災など願って、地域間の交流を促進しようと「獅子の共演」が提案され、今年度の開催となりました。獅子舞の共演は、14年ぶりとなります。

当日は、町内4地区の神社に伝わる獅子舞が披露され、会場に詰めかけた多くの町民を魅了していました。

民間医院への支援は貸付金

地域医療支援事業の経過と9月定例会の結果

民間医院への地域医療支援事業補助金3000万円の経過

【6月定例会】

● 原案を否決

討論では、患者数の減少や経営実態等の本質的な対応が必要であり、町は実現に即した地域医療再編計画等策定し、根拠に基づいた支援を行うべきである。経営難のみに対しての支援は行うべきでない趣旨の反対討論があり、**原案は賛成少数で否決**された。

【要望書の受取り】

7月には、町内12の団体から、民間医療機関の存続支援に関する要望書が議長宛てに提出された。

【全員協議会】

8月21日の全員協議会で、地域医療支援事業補助金について集中審議を行った。町からは、補助金の使途について説明（医師・看護師の person 費、機器リース代、光熱水費、医療体制を維持するための経費全般）があり、加えて①内科医師の確保②医療コンサルタントの介入③人件費削減による経営面改善などの説明があった。

【9月定例会】

6月定例会と同内容の地域医療支援事業補助金3000万円を含む一般会計補正予算（第4号）が上程されるが、議員発議による修正動議が提出された。

提案理由は、「事業内容とその金額に不透明な部分がある」ことから、補助金3000万円を削除した予算案を上程し、賛成多数で可決された。

最終日に地域医療体制確保事業貸付金3000万円を審議

● 主な質疑と回答

高橋（勝）議員 補助金から貸付金に変更した理由は。

総務課長 議会との議論を通して、貸付金と修正して今回の上程に至った。

再質問 貸付金には、金銭消費貸借契約書が必要だが原案は。

総務課長 今後当事者間の合意のもとに、金銭消費貸借契約書を作成する。償還期限は5年据置き、10年間の償還で年賦償還。無利子

で連帯保証人は必要とする原案としたい。

遠藤（純）議員 要綱も予算とセットで示すべきではないか。

総務課長 役場と当事者間の協議後に、報告したい。

再質問 金額だけの決定だけではなく、貸付金要綱を議会に提示して審査すべきと思うが。

総務課長 予算を伴わない段階で要綱は作れない。

遠藤（芳）議員 貸付金にしても根拠が必要と考えるが。また黒字の見込みは。

総務課長 今回の貸付金の目的は、地域医療の確保と医療提供の安定化、また住民福祉の増進には不可欠と考えており、貸付けについて問題

はないと考えている。**健康福祉課長** 新たな医師の確保や人件費削減の実現により、試算では約7年後に単年度収支で黒字に転ずる計画となっている。

【採決】

- ・賛成 6人
横山清彦 高橋 勝
屋嶋雅一 舟山政男
遠藤芳昭 高橋亨一
- ・反対 3人
高貫寿雄 遠藤純雄
松山和好

● 賛成多数で可決



支援が決定するも
今後を見守りたい

増加、将来負担率は改善傾向

過去5年間の各基金残高 基準日：令和6年5月31日現在

(単位：万円)

基金の名称	令和元年度 現在高 (R2.5.31)	令和2年度 現在高 (R3.5.31)	令和3年度 現在高 (R4.5.31)	令和4年度 現在高 (R5.5.31)	令和5年度 現在高 (R6.5.31)
財政調整基金	4億4308	4億5712	5億1223	4億5969	3億8985
減債基金	2億7940	1億7234	2億9939	2億9234	2億5118
地域福祉振興基金	1億6838	8843	8944	9345	6596
公共施設整備基金	4億2858	3億8168	3億2054	3億2564	2億5502
地域振興基金	5844	4806	4507	4507	3898
いいでめぎみの里応援寄附基金	2035	6035	6037	6037	37
中小企業緊急災害等対策利子補給基金	—	2500	1871	1280	773
企業版ふるさと納税地方創生基金	—	0	500	1000	330
スポーツ振興基金	4389	3740	2841	2842	1022
交通遺児等支援基金	501	501	501	501	501
小計	14億4713	12億7539	13億8417	13億3279	10億2762
国民健康保険財政調整基金	1億0391	1億0393	9562	1億0462	1億0462
介護保険介護給付費準備基金	1億1014	1億3271	1億7272	2億1103	2億3445
畜産振興基金	5525	5525	5526	5526	5526
森林環境譲与税基金	301	1063	1063	1287	1207
奨学資金貸与基金	6446	6446	6446	5446	5446
土地開発基金	1億7158	1億7161	1億7165	3745	3745
財産区基金(4財産区)	8300	8119	7944	7315	7218
小計	5億9135	6億1978	6億4978	5億4884	5億7050
総合計	20億3848	18億9517	20億3395	18億8163	15億9811

基金残高は前年度より2億8351万円少ない15億9811万円で、前年度に比べ15.1%の減である。財政調整基金は、3億8985万円で適正額の標準財政規模の10%の額のおおよそ93.6%である。令和8年度以降に町債償還金のピークを迎えることから、計画的な積立を図ることが必要である。

監査総評、指摘事項

一般会計及び各特別会計(11会計)の会計全般について、歳入は予定どおり確保され資金繰りは順調であったと史料される。一般会計決算における財政分析主要指数の推移を見ると、^{*1}財政力指数0.195、^{*2}実質収支比率11.8%、^{*3}経常収支比率89.3%であり、弾力性に乏しい財政状況下にある。町民総合センター大規模改修事業、中学校大規模改修事業及び新産業集積事業等の実施に伴う地方債残高の増加により、健全化判断比率などの指数では、^{*4}実質公債費比率は年々増加しているが、^{*5}将来負担比率は改善の傾向にある。

令和5年度 決算概要

実質公債費比率は年々

一般会計決算

歳入 82億8879万円

歳出 76億7937万円

令和5年度の一般会計、各特別会計及び水道事業会計の決算は、決算特別委員会において審査の上、全会一致で認定すべきものとなった。

一般会計決算では義務的経費の内、人件費は前年度より1198万円増加の前年度比プラス1.1%増加となった。扶助費は6559万円増加し、前年度比プラス12.8%。また、公債費は7802万円増加し、前年度比プラス8.4%増加となった。財政状況の厳しいことを考えれば、**経費削減に努めながら、より良い行政サービスの提供が必要である。**

また、これまでの大型事業により、**地方債の償還金は、令和10年度まで12億円前後で推移し、償還のピークを迎える。**加えて、各基金残高は減少し財政状況は悪化している。

この状況を全職員が共有し、これまでの前例踏襲を見直し、最大限の歳出削減に取り組むべきである。

過去5年間の公債費推移

(単位：万円、%)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
※6公債費決算額	7億0426	9億1113	8億4815	9億2523	10億0325
歳出総額に占める割合	10.1	10.1	11.8	12.0	13.1
実質公債費比率	8.6	10.6	12.0	12.8	13.5

実質公債費比率は年々増加し、当年度は13.5%となり昨年度より0.7%増である。

過去5年間の財政収支の状況

(単位：万円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
歳入総額	74億6290	93億5963	76億7421	82億5610	82億8879
歳出総額	69億4770	90億4008	72億0158	77億2425	76億7937
基金積立金	24	4	11	1億4445	16
基金取り崩し額	4億7800	1億3100	7800	4億0800	2億3500

用語説明

- ※1 財政力指数：必要とする一般財源に対して税収入等がどれだけあるかを示す指数。
- ※2 実質収支比率：この比率が黒字の場合は余剰金があること。3～5%が望ましい。
- ※3 経常収支比率：経常経費に地方税、地方交付税、地方譲与税などの収入がどの程度充当されたかを見ることにより、財政構造の弾力性を判断する指数。
- ※4 実質公債費比率：町の借金返済額を標準的な財政規模で負担する割合を率で表したもの。
- ※5 将来負担比率：将来負担する借入金の残高などから貯金など標準的収入に対しての割合の数値。
- ※6 公債費決算額：町の借金の返済額。

財政調整基金が必要

総務文教
所管分



決算特別委員長
松山和好

令和5年度一般会計、各特別会計（国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・訪問看護・介護老人保健施設・下水道事業・5財産区）および水道事業会計合わせて13件について、決算特別委員会を設置し審査しました。

決算特別委員長に松山和好委員を、副委員長に舟山政男委員を選出し、9月10日・11日の2日間にわたり、慎重な審査を行い、いずれも全員一致で認定すべきものと決しました。

（各委員の質疑内容は要約して記載）

一般会計

財政調整基金の運用について

遠藤(純)委員 残高が県内で下から4番目となっている財政調整基金の目的と使途について、人命に関わる激甚災害時、町民の命を守

れるか。防災訓練の想定どおり、人命に関わる激甚災害が発生した場合、今の残高では不足が生じる。標準財政規模の20%は必要と考

えるかどうか。**総務課長** 基金の設置条例では、災害復旧等

その他財源に不足が生じた時に使用するとしており、標準財政規模の10%を目標としているが、標準財政規模の20%を目標にして取り組んでいきたい。

今後のEV車の導入は

横山委員 総務課管理リース車6台で公用車リース料333万円となっているが、EV車とガソリン車のリース料の差を削減の面からEV車の導入を検討する。

料の詳細は。

総務課長 軽自動車、EV車は月に3万9千円、ガソリン車は月に2万8千円となっている。CO₂削減の面からEV車の導入を検討する。



令和4年8月の豪雨災害
あ～す周辺も大きな被害があった

「財政調整基金」とは、災害等の復旧や赤字財政を補填するなど、緊急に対応する必要があるときのために積み立てておく町の貯金のこと。令和4年8月の豪雨災害で大きな被害を受けた本町においては、町単独での復旧事業も少なくなく、住民生活の安定のために、きめ細かな対応をするためにも一定の基金を積み立てておく必要があり、一般には標準財政規模の10%を最低の目標としている。

決算特別
委員会

大きな災害に備えた

公民館とまちづくり
センターに事業予算を

遠藤(芳)委員 5つの

地区公民館と町づくり
センターの事業費(約
6000万円)のほと
んどが人件費と施設の
維持管理費で、事業費
が少ないが、独自事業
費はどのように使用さ
れているか。

社会教育課長 決算の

内容は事業に必要な謝
礼や消耗品等があり、
各センター創意工夫の
もと必要最小限の経費
で最大の効果を得られ

るよう取り組んでいる。

施設等の記録の
整備は

屋嶋委員

令和4年度、
施設等の修繕や維持管
理の経過記録が整備さ
れていない課があると
指摘があった。その後
の状況と記録簿の活用
は。

総務課長 固定資産台

帳により管理している。
今後は情報共有の他、
修繕計画や維持管理な
ど各課と共有し活用す
る。

部活動指導員の
報償費は

高橋(勝)委員 部活動

指導員報償費について、
指導員数および、現状
での課題は。

教育総務課長 技術指

導を行う専任者を文化
部・ソフトテニス部に
各1名と、引率の3名
になっている。今後は、
指導員の確保と報償費
などの財源確保が課題
となっている。また、
部活動地域移行にかか
る準備検討会において
も、課題を共有、整理
して今後の検討内容と
する。

ポータルサイト
委託料とは

舟山委員 ふるさと納

税ポータル等委託料1
400万の内容について。

総合政策室長 令和5

年度は6800件のふ
るさと納税を受けてい
る。受付から返礼品の
発送までを行うポータ
ルサイトへの委託料で
ある。

高橋(勝)委員 収入未

済額が前年と変わらな
い、今後の対応は。
税務会計課長 有効期
限の短い短期被保険者
証の交付や所得税還付
金差し押さえなどを行
い、納付を促している。

特別会計

国民健康保険税

高橋(勝)委員 収入未

道の駅いいでに設置され
たふるさと納税自動販売
機



有価物売り払い
代金については

島貫委員 代金として

の85万円の内容は。

住民課長 古紙が約51

万円、空き缶が約31万
円、鉄が約2万円で、
ビン代金はない。

決算特別委員会とは
※決算特別委員会と
は9月定例会で上程
された決算議案につ
いて、その認定審査
のために設置される
委員会のことです。
決算の審査は、当該
年度の予算の議決に
基づく財務処理の全
体を通して、その執
行が適正、公平かつ
能率的・合理的に行
われたか否かの適否
を審査するものです。

西部公民館に併設されている3つの各施設



地域連携DMOの内容は

産業厚生
所管分

一般会計

地域連携DMOは

遠藤(芳)委員 近隣の

市町とすすめている地域連携DMO(アルカディア観光振興局)への負担金763万円の内容は。

商工観光課長 置賜地

域の観光関係者が一体

となって旅行企画を商品化する組織で、昨年

度は「町への移住体験」・「新酒会」・「なごめやまバイオガス視察プラン」・「田園散居見学」その他のプランがあった。

度は「町への移住体験」・「新酒会」・「なごめやまバイオガス視察プラン」・「田園散居見学」その他のプランがあった。



飯豊町移住体験ツアー ～飯豊の冬の暮らしてこんな感じ～

避難支援者台帳の活用は

屋嶋委員 避難行動要

支援者台帳管理システム委託料として352万円を執行しているが現在このシステムをどう活用しているのか。



個別避難計画策定会議

健康福祉課長 避難行

動要支援者を台帳にまとめた。

今後は災害などの時に活用し、各地区の組

織の支援行動計画に利用していきたい。

配食サービスは

高橋(勝)委員 配食サ

ービス業務委託料が約184万円となっている。利用者数と配食数はどれほどか。あわせて事業目的である見守りと栄養改善は達成されたか。



配食サービスの一例

健康福祉課長 月平均

13～19人の利用者で、年間2324食を提供した。また、提供メニューは、担当課で確認させてもらって栄養

に活用し、各地区の組

改善につなげている。

野外災害救助講習は

横山委員 地域おこし

協力隊の受け入れ事業の中で、災害救助講習43万6千円の内容はどのようなものか。

観光交流室長 アウト

ドアで怪我をした場合などに行う応急手当講習である。エイチ・アンドカンパニー株式会社に委託をして11名の参加があった。



野外応急手当講習会

決算特別
委員会

近隣市町とすすめる

松くい被害伐倒駆除は

舟山委員 松くい被害
伐倒駆除及び病害虫
被害木伐倒処理に約
640万円使われてい
る。松くい虫被害は現
在も増え続けているか。
農林振興課長 春の会
議では、県より松枯れ、
およびナラ枯れは減っ
ていると言われている
が、最近では増えてい
る状況にあり注視して
いる。

また、県には「松く
い虫被害対策計画」が
あり、町内の林を守る
区域指定を行なってい
る。さらに、「持続的な
森づくり事業」でも一
部伐倒処理をおこなっ
ている。



最近松枯れ・ナラ枯れは増加している

「移住窓口」の取 り組みは

高橋(勝)委員 高円寺
にある飯豊町のアンテ
ナショップにおける
「移住窓口」の取り組
みは。

商工観光課長 移住窓
口相談についてはまだ
十分な対応はできてい
ない。

水道料金の見直し

高橋(勝)委員 給水原
価が年々上昇している
要因と、現在の水道料
金で今後も事業として
持続可能なのか。

地域整備課長 令和4
年の豪雨災害以降、小
白川浄水場の通年稼働
によるコストの増大、
老朽化した水道施設の
更新などが要因となっ
ている。現在水道事業
基本計画を策定中で、

特 別 会 計

適性な水道料金につい
ても審議いただきたい
と考えている。

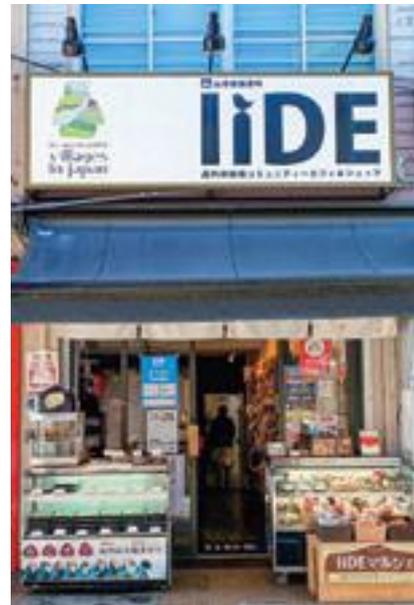


小白川浄水場

当初予算の半分 以下の執行理由は

屋嶋委員 生活排水個

別処理事業で、令和5
年度の当初予算で浄化
槽工事を1300万円
としていたが、実際は
半分以下の586万円
の執行状況であるが、
予定どおりにならな
かった理由は。
上下水道室長 申請に
よって執行するが、令
和5年度は4件と考え
ていたが実際には3件
の申請だったためであ
る。



東京高円寺の飯豊町アンテナショップ

ない。都内で移住に関
するイベントがある時
にお知らせしたりチラ
シを配ったりしている。



氏名	質問事項	ページ
議席番号3番 遠藤 純雄 議員	※①休日の部活動の地域移行について ※②後藤町長が町政を担ってきた4期16年を振り返り、本町の基幹産業である農業はどうなったのか。	P11上
議席番号4番 高橋 勝 議員	①地方創生の果実は。4期16年の成果を問う。 ※②「手づくりのまちいいで」は、持続可能な仕組みになっているか。 ※③豪雨災害から2年。安心して暮らせる地域となったのか。	P11下
議席番号5番 屋嶋 雅一 議員	①後藤町政の残り任期に望むこと ※②義務教育学校開校に向けての課題を問う	P12上
議席番号1番 横山 清彦 議員	※①高齢化、人口減少が深刻な状況で伝統文化を後世に引継ぐための対応策、支援策について	P12下
議席番号6番 舟山 政男 議員	※①閉校後における手ノ子小学校の利活用について	P13上
議席番号8番 遠藤 芳昭 議員	※①義務教育学校の進捗状況は順調か ②後藤町政の事業と課題を引き継ぐことについて	P13下
議席番号7番 松山 和好 議員	※①後藤町政の自己評価と次の町長に継承することとは	P14上
議席番号2番 島貫 寿雄 議員	※①16年前の再チャレンジの際、どんなリーダー像を思い描き、どんな町長を目指したのか。 そして、その思い、その目標はどの程度達成されたか。 ※②補助金を交付するための事業の際、最も基本となる考え方や進むべき方向、後藤町長が、特に大事だと留意して来た事は何か。	P14下

※今回、掲載した一般質問の内容です。

知れば得する議会の基本「一般質問について」



録画中継を見ることができます

一般質問は定例会の本会議において、議員が執行機関（町長や教育長）に対して、行政全般（公共事務、行政事務の一切を含む）について質問を行うことです。一般質問では、執行官の所見や施策について報告を求めたり問いただすこともあります。

これまでの農業支援と 土日の部活動地域移行を 問う

町長

町独自の支援を加えながら振興した

本町の基幹産業である農業は、どうなったのか

質問 後藤町長が町政

を担ってきた4期16年を振り返り、本町の基幹産業である農業はどうなったのか。

町長 稲作振興では、エコプラントで製造された有機肥料を用いて特別栽培米の生産を拡大した。また、生産調整の取り組みでは、制度の中で、町独自の生産振興助成金でかさ上げを行い取り組んだ。畜産については、就任時より一部を除いて増頭しており、今後も振

興を続けていく。土日の部活動地域移行について

土日の部活動地域移行について

質問 スポーツ庁では、

教職員の働き方改革から2025年まで土日の部活動を地域に移行しようとしているが、本町の取り組みはどうか。

教育長 現在の教職員

の時間外労働は、月約56時間、年間671時間となっており、土日の部活動を移行することにより14時間減少が見込まれ、ガイドライン内になる。今後、地域部活動推進協議会を設置し、実証実験



遠藤 純雄 議員

を行っていく。また調整を担うコーディネーターを設置し、学校と地域の連携を図り、指導者には各種指導者研修会参加を促す。県からは、部活動は平日のみとの考えが示されていることから、今後は平日は部活動、休日は地域クラブとなることが想定される。



部活指導者を地域から

豪雨災害から2年 安心な地域となったのか

町長

効率的・効果的な排水路改修を関係機関と行っていく

排水路機能強化の進捗状況は

質問 定例会一般質問

において、浸水地域を減らす方策について町は、「排水路の機能強化について、県や関係機関と協議を行っている」と答弁されているが、その後の経過は。

町長 ①白川土地改良区によると、国道113号南側について、土砂堆積が著しい上代地区内の1000メートルを今年度中に実施予定と聞いている。②椿

地内の八幡排水路について、施設所有者の農水省と協議を重ね、白



高橋 勝 議員

手づくりのまち
いつの今後は

質問 手づくりのまち

川へ排水できるような制水ゲートを今年6月に設置した。③JR米坂線を横断する排水管の整備について、現在JR東日本新潟支社と協議中となっている。

町長 地区協議会長会

において、進め方などについてご意見を頂戴したいと考えている。

※他に、「4期16年間の成果を問う。」として、人口減少の歯止めについて質問。



早期の排水路改修を
(国道南側排水路)

義務教育学校開校時の 教室不足の対応は

教育長
既存中学校校舎の
一部改修と校舎の
増築により対応

不足の教室対応は

質問 施設分離型や施設一体型どちらにしても教室が不足となる。どう対応していくか。

見ると、9年後には、すべて1クラスとなる。

教育長 施設分離型で

既存中学校内の一部改修で5教室は確保できそう。できるだけ余計な経費をかけないように。

の開校時は、普通教室が10室、特別支援学級の教室が4室、音楽室が1室の15教室となり、

教育長 できるだけ既存中学校内の改修を考えるが、増築も視野に入れて検討したい。

現状では6教室不足となる。その他職員室の拡張が必要となり、既存中学校校舎の一部改修と校舎増築により対応したい。

**余計な経費を
かけないように**

質問 現在の出生数を



改修で済むか中学舎



屋嶋 雅一 議員

職員の配置は

質問 各学舎に教頭1名ずつ配置とのことだが、養護教諭や教務主任などの配置はどうなっているか。特に養護教諭はすべての学舎に必要では。

教育長 今年7月県教育委員会から、県内の

教職員数の減少もあり、3学舎に希望の教員、養護教諭、事務職の配置は困難であるとの見解が示された。施設分離型での学校運営自体に支障をきたすことから、施設一体型で開校できないか検討している。

菅草の栽培、菅笠の製作を 後世に引継ぐための 対応策、支援策は

町長
次年度以降の
補助事業を検討

助成金の値上げ必要

質問 国の経営所得安定対策で10アール当たり産地交付金1万円、菅草も含む園芸作物については、10アール当たり生産振興助成として2000円の助成金があるが値上げの必要があるのでは。

けをされている方が6名、計7名で製作をされているが、伝統文化、伝統工芸として後世に引継ぐための施策は。

町長 担い手確保に繋げる施策として菅笠製作のワークショップの開催に向けた準備を進めている。

質問 ワークショップの開催の期日は、定員は何人になるのか。

社会教育課長 令和6年10月19・20日中津川を会場に5名の方に参加を頂き、直径24cmの笠の製作を骨組みから菅の縫い付けまで行う予定である。

菅笠製作の担い手は

質問 菅笠の製作で、骨組みの製作をされている方が1名、縫い付

伝統文化の魅力を発信

質問 後世に残すためにはインスタグラムやYouTubeなどのSNSを活用して写真や動画を通じて若い世代の方にも知ってもらうことが必要、地域おこし協力隊の制度を活用して魅力を発信してはどうか。

町長 地域おこし協力隊は、工芸品に興味のある方などの活路を模索しながら稀少な伝統文化をつないでいきたい。



中津川で生産された花笠



横山 清彦 議員

閉校における手ノ子 小学校の活用について

町長 地域の実情やニーズを踏まえ活用方法を提示したい

閉校と同時に更地にすることは

質問 閉校後、時間をおかずに校舎を解体して更地にすることは。

総合管理計画がある

町長 公共施設等総合管理計画において、「保有する公共施設の全体面積を、人口減少や人口構造の変化を見据えながら縮減する」、「建設してから30年を超えるもので長期の活用が見込まれない場合は廃止を基本とする」、「廃止した施設で売却や貸し付けが見込めない場合は、周辺施設の環境



舟山 政男 議員

新潟山形南部連絡道路のメリットは

町長 順位をつけて利活用や解体を進めていくことが望ましく、令和4年災害や、財政計画との整合性をとって進める。今後、新潟山形南部連絡道路の開通によるメリットを生かしたい。

遊休施設の検討は

質問 体育館は高齢者に不向きなトイレや階段があり不便である。また、閉園した幼稚園、取り壊し予定の改善センターがあり、壁のよっに残る。今後の検討は。



閉校となる手ノ子小学校

義務教育学校は どうなるのか

教育長 令和8年4月より飯豊中に5校舎を一体型として開校したい

令和8年4月 3学舎でのスタートでは

質問 これまでの説明では令和8年4月から北・中・南校舎の3学舎でスタートし、財源の目途がつけば1校にするのではなかったか。

教員が不足することがわかった

教育長 当初見込みの児童数を下回り、3学舎に「教頭・教員・養護・事務職など、町の希望どおり配置されること」が難しい」と県から示された。教員数を確保するには1学舎にせざるをえないと判断した。

不足教室数は

質問 小中を現飯豊中に統合すること。一体型での不足教室数は。

不足する教室は東側に増築する

教育長 一体型とした場合、7つの教室が不足する。その他特別支援教室、音楽室1、職員室も必要となる。現校舎の東側に建て渡り廊下で結びたい。

工事費・財源は

質問 増築工事の事業費とその財源は確保しているのか。



遠藤 芳昭 議員

現在は何も確定していない

教育長 現在、設計中で金額は出ておらず、事業費も今は分からない。その財源は県や国と協議中だが、8年4月の開校を目標に準備をすすめた。



不足教室を飯豊中駐車場部に増築

後藤町政の自己評価と次期 町長に伝えたいことは

町長 いずれ花が咲き
実がなると次期町長へ
伝えたい

巨額投資の結果を
どう考える

質問 町長は2期目から電池バレーと称して40数億円にも上る巨額の投資を続けてきたが、私が予想、指摘したとおり、すべてが行き詰っていると思うが、町長はそれをどう評価し、次期町長に継承していくつもりか。

町長 大学は開学し、貸工場は利用開始した。かならずや花が咲き実を結ぶものと確信し、次期町長へ伝えたいと考えている。



松山 和好 議員



専門職大学は人の気配が少ない

実体の無い事業へ
金をばらまくのは
どうなのか

質問 私が令和5年12月に調査依頼書によ

て調べた事業の中に、企業版ふるさと納税によって集めたお金を特定の事業者に注いでいるが、その事業が実体的なものである可能性が高く、また報告書を見ても全く内容が無い。これはどういう訳か。

町長 企業版ふるさと納税からのお金を投入した場合の報告書等の成果品については吟味の必要は無いということになっている。

どんなリーダー像、 町長像を思い描き、 その達成度は

町長 住民に寄り添う政策を
立案、町政運営をして
きた

最初に町長を目指した
時からの強い思い
とは

質問 どの様な思いで町の舵取りをされたか。

町長 住民の生活が最も上流であるとの考えのもと、住民の暮らし中心の政策を、県や国に繋げる町政運営をしてきた。

質問 どんな政治かも大切だが、どんな政治家リーダーかも大切。

町長 町長としての謙虚さはある、たまには言葉を荒げる事もあったと反省している。

質問 目標とした政治

家は。

町長 夢を持ち理念先行で独自の政策を進めるのが役割。あえて挙げれば大改革をした上杉鷹山公が尊敬すべき人物。

質問 町民の声の一番の課題。その解決策は。

町長 生活困窮者、しよがい者が多い事を知り「でんでん」を開所、若者のために電池バレーに挑んだ。

補助金交付の際最も
基本となる考えは

質問 補助金は大切な町民のお金。支給の公正さと町民への利益に繋げるには。



島貫 寿雄 議員

町長 補助金は公益上必要がある場合寄付又は補助できるといふ地方自治法の規定がある。その事務は目的、公益上の必要性、事業内容、事業費積算の妥当性等を公正・慎重に審査し町民の利益に繋げている。

質問 この夏恒例のプレミアム付商品券が発行されなかった。物価高対策、地域経済のためにも、年二回の復活を。

町長 物価高騰対策支援商品券もあり今年は一回になった。

商工観光課長 結果を踏まえ、来年度は年二回予算要求をしたい。

連載

JR米坂線復旧飯豊の会 『会員募集』

絆まつり開催 小国町との連携

令和4年8月豪雨で、JR米坂線が不通となったことにより沿線住民は不便な生活をいられています。このため町議会と商工会や観光協会が中心となり「JR米坂線復旧をすすめる飯豊の会」を設立し、復旧や利用促進に取り組んでいる。個人会員も募集中です。

米坂線絆まつり

8月31日(土)「米坂線絆まつり」が小国町のJR小国駅前広場で開催され、山形・新潟両県からたくさんの方が集まり米坂線復活の運動を力強く進めていくこととした。

山形・新潟両県知事も

当日は仁科洋一小国町長の実行委員長あいさつがあり、その後吉村美栄子山形県知事、花角英世新潟県知事も登壇し「米坂線は必ず復活させよう。運動は本日がスタートだ」と述べた。



署名活動で復旧を訴え



吉村知事から激励

シンガーソングライターあべあいこさんも「米坂線を応援」



まつりのイベントでは飯豊町出身のシンガーソングライター「あべあいこ」さんはじめ多くのミュージシャンなどが参加し、あべさんは一日も早い米坂線復活を願って「汽車は走る」などの歌を披露した。ほかに風とたんぽぽが「世界につなげ米坂線」などの歌が披露された。

沿線自治体と連携し復旧運動を

小国町との連携協議

「JR米坂線復旧をすすめる飯豊の会」では米坂線運休の影響を最も受けている小国町の「米坂線復旧小国期成同盟会」と連携して行動するよう協議をすすめていくこととしている。

小国町の取り組み

小国町でも同様の住民組織が昨年12月に90団体によって発足し、署名活動を中心に活動中。「絆まつり」では活動の中心となって盛り上げを図っていた。

チラシや旗を作成

今後、両会では小国

町や関川村の民間組織と連携した活動が必要として「沿線自治体へのほり旗」「住民大会」等を計画している。国やJR東日本に対して沿線自治体が一体となつて取り組みをすすめていく。



多くの方で賑う米坂線絆まつり

町づくり

第2回議会と女性の方との懇談会開催

町議会

- 子供の居場所づくり
- 子育ての町の政策
- 若者の地域活動の場が少なく
- 町民が参加できる町づくり（公民館等）
- 町民の文化活動の取り組み
- 町の補助金（実績重視で新たな芽が育たない）
- 学校教育への疑問

出された意見等 第1グループ

7月14日（日）、町民総合センターあすにおいて9名の参加により昨年2月に引き続き2回目となる「議会と女性の方との懇談会」を開催しました。議会では「女性の声をまちづくりに」結びつけるため、話し合いの場として計画したものです。当日は夏休み前の3連休とあって参加者は少なかつたものの、活発な話し合いが行われ、多くの提案をいただきました。

女性の声や思い
発する場を数多く



多くの意見が出された懇談会
議会はこれらの提案を取り上げ、町に訴えていくこととしている

出された意見等 第2グループ

- 子育て教育のソフト的な取り組み充実を
- 充実した公園がない
- 免許証返納後の足の確保が不安
- 買い物支援を
- 音楽からの町づくり
- 集まる場所を充実
- 災害時の避難場所への移動対応
- イベント内容見直し

参加者の感想

子育て・見守り

○ 日常的な子ども遊び場が少ないため他町に行く。今ある施設を子どもたちのために有効活用してほしい。

○ 子どもの居場所を作りたい。町でも「プレーパーク」などをやりたいこともある。

町づくり

○ 町や地区のイベントは人手不足になっており、もっと人が集まるイベントを。

○ 地区公民館やサークル個々の活動だけでなく、多くの団体が連携した事業を。

意見・提案

□ 意見を発表できる場所があることは嬉しい、継続を。

□ 気持ちのある女性の方々に出会えたことは貴重、数多く。

□ まだまだ話したい女性が多くいると思うので、多くの方が参加できるように。

□ 大人だけでなく、中学生などを巻き込んだ懇談会を。

□ 懇談会はテーマ毎に設定して、やりたいことを話し合っただけか。

特集

女性の社会参画をさらに進めるため

女性の声を

参加者からのアンケート

「第2回 議会と女性の方との懇談会」に参加いただいた9名の方からの感想をいただいたので、ご紹介させていただきます。

参加しての感想

- ・大変良かった 8名
- ・良かった 1名

これまでの疑問は解決しましたか

- ・すべて解決した 0名

- ・ある程度解決した 2名

- ・引き続き要望提案していきたい 4名

- ・その他 2名

■皆さんとつながったことで、何か事をおこせたらいいなと思った。

懇談会のすすめ方

- ・良かった 15名

■グループでの話し合いで話しやすかった。

■意見がたくさん出て、皆さんいろいろ考えておられた。

今後の開催について

- ・このやり方で開催すべき 5名

- ・やり方を変えて開催すべき 3名

■ポイントを2〜3に絞ってみては。

■各地区や各世代からの参加も考えて。

■時間が足りない。

■中高生も入れては。

議論するテーマは

- ・テーマを設けたほうがよい 3名

- ・ある程度自由に発言できる方がよい 5名

- ・その他 1名

■興味のあるテーマだと参加するのでは。

次に開催したら参加いただけますか

- ・参加する 7名

- ・わからない 2名

■次回の開催はまだ決まっていないが、参加いただいた方の多くは開催を望んでおられることが分かります。今後も検討していきたい。

女性の社会参画を

懇談会を終えて

2回目の開催となった懇談会だったが、女性の視点というより社会のあるべき姿がテーマとなった。

教育、子育て、福祉などについては、女性の問題ではなく社会全体の問題としてとらえての発言に心を動かされた。

暮らしの中には、女性が担う役割も数多くあるが、政治にはなぜか女性の姿が薄い。

飯豊町は女性議員が2期続けてゼロである。県内の女性議員比率も10%程度。

男性だけの議論から女性が入ることによって多様性が担保されるはずであり、違う視点も見えてくる。今後もこの活動は継続する必要があると思われる。

飯豊町議会

広報公聴委員会



参加いただいた女性の方と広報公聴委員会委員

テレビ塔の下部土砂崩れで倒壊の可能性

総務文教常任委員会

各課からの主な報告

主な質問と答弁



テレビ塔下部の土砂崩れの様子

◆受信不能の可能性

手ノ子地区に設置のテレビ塔の下部で土砂崩れが発生し、テレビ塔が倒れる可能性がある。倒壊した場合、テレビ受信ができない世帯は200と試算。しかし、修復は困難であり、現在代替処置や財源について検討中。

(企画課)

◆調整給付金を支給

定額減税しきれないと見込まれる方に対して調整給付金を支給する。

支給対象者

1460名

給付金額

6392万円

申請期限

令和6年10月31日

(税務会計課)

◆消防庁より消防ポンプ車を無償貸付

救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車を総務省消防庁から無償貸付を受ける。

引渡し

令和7年1月～2月

(総務課)

◆利用申し込み受付

令和7年度の乳幼児施設、学童クラブの利用申し込み受付

10月15日～11月15日

(教育総務課)

●新たな協力隊要請は

横山委員 ゼロカーボンとSDGsの2人の地域おこし協力隊が9月で退任する。新たな協力隊要請は。

企画課長 現段階では

考えていない。2名の方は町内で起業予定である。

●選定される見込みは

菅野委員 脱炭素先行地域100に選定される見込みはあるのか。

住民課長 今

回選定されなくとも、再度申請する。委員会、専門部に改めて意見を報告する。

独自予算も視野に、ゼロ

カーボン推進に努める。

●登校時のバス運行は

高橋(勝)委員 夏休み前後の登校時において、ここ近年は高温の状態となつている。来年度以降のスクールバス運行の予定は。

教育総務課長 登校時

においては、7月から9月上旬の期間をバス運行ができるように検討する。

●カスタマーハラスメントの取り組みは

屋嶋委員 最近、民間企業だけでなく、役所や学校などあらゆる職場で、カスタマーハラスメントを禁止防止に取り組んでいる。本町の取り組みは。

***カスタマーハラスメントとは、顧客、取引先、社外の人**

が理不尽な言動や行動をすること

総務課長 本町では、ハラスメント防止に関する要項を定め取り組んでいる。

●電話録音は

島貫委員 電話録音システムは、役場からかけた場合も録音されるか。

総務課長 かける場合

も録音する。



運行を期待されるスクールバス

切れ目ない災害復旧を

産業厚生常任委員会

各課からの主な報告

◆令和6年7月25日豪雨に係る今後の対応について

令和4年災で被災した3か所のうち2箇所は継続して工事を実施し、新たに被害を受けた箇所は6年災として災害復旧申請する。
(地域整備課)



8月8日鈴木農林副大臣による秋生川上流被災現場視察状況

◆飯豊町持続可能な観光計画策定の進捗状況
8月20日の応募期限まで4社の応募があり、

公募型プロポーザル審査会で「株式会社さとゆめ」を選考した。
(商工観光課)

◆令和7年産つや姫・雪若丸の生産面積について
つや姫は、2.1ha増の216haであり、雪若丸は10月16日置賜審査会が開かれ11月中旬に生産者に届く。
(農林振興課)

◆令和6年度新たな非課税世帯物価高騰緊急支援給付事業の進捗状況について
重点支援地方交付金を活用して新たに住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯に対し1世帯当たり10万円を給付する。
対象世帯…84世帯
申請件数…78世帯
申請期限…10月31日
(健康福祉課)

●つや姫栽培の地域枠菅野委員 町への割り当ては微増だがどのよう配分するのか。
農林振興課長 新たに栽培希望の農家を主に町が配分する。
菅野委員 つや姫認定農家が離農する時、それまでのつや姫栽培農地の取り扱いは。
農林振興課長 借主より意見を吸い上げて対応する。
●老健施設について
島貫委員 「美の里」の入所状況は。
介護老人保健施設事務長 8月中は最大で23名利用し、8名待ちの状況。介護職の離職や休業により、3ユニットから2ユニットで運営している。
●8月19日向原増圧ポンプ故障による断水について

質問と答弁

遠藤(純)委員 断水したことによる水道料金の減免の検討は。
地域整備課長 地区の皆様にはご迷惑をおかけしたため、手ノ子スキー場から先の世帯について減免を検討する。

●自殺予防対策について
高橋(亨)委員 自殺予防対策事業の内容は。
健康福祉課長 臨床心理士による相談会及び、



向原にある増圧ポンプ設備の入っている建物

●東山工業団地企業連絡協議会の設立は
遠藤(芳)委員 本年3月議会で協議会の設立提案をしているが、その後の進展は。
商工観光課長 その必要性はこれまでも言われており、現在、年度内の設立に向け準備中である。

松山委員 第三セクターの三者契約で保証金額が一括表示である。各債務に対しての保証契約を明確に個別表示することは。
商工観光課長 対象となっている案件ごとに担当者は理解していることが必要である。表を作成し、返済管理をしていく。

町民からのメッセージ「私からひと言」

「こどもたちに喜んで食べてもらえる野菜づくり」

第2回 小文次ファーム 長岡 悠平さん (中)



長岡さん家族（右から悠平さん、岳くん、奥様の麻衣さん、禅くん）

町議会では議会広報紙に、本年度より町民からのメッセージ「私からひと言」コーナーを設けることにしました。町民の皆様の活躍のご紹介と、議会に対してのご意見等を紹介していきます。
第2回目は先祖代々受け継がれてきた8ヘクタールの耕作地に大小のビニールハウス12棟をたて、野菜づくりに取り組んでおられる小文次ファームの長岡悠平さん(中)にお話をお聞きしました。

離農者が増えていますが農業に興味があったのですか

長岡さん 農業を継ぐ事は考えていませんでした。父が米づくりをしていたので会社が休みの日に手伝う程度でしたが、平成27年頃から野菜づくりに興味が出てきて自営で取

り組み始めました。

生産している作物は何ですか

長岡さん ピーマン・カリフラワー・ブロッコリー・キャベツ・ジャガイモなどを生産しています。

令和4年8月と今年の7月25日の大雨が降ったことでの被害は

長岡さん 令和4年8月の豪雨の時はピーマン・ジャガイモ畑に土砂が50センチメートルくらい溜まり、半作で収穫を打ち切りました。今年の7月25日の大雨でも被害は

あったが令和4年8月の経験をもとになんとか生産を続けています。

作物の生産で大変なこと、大切にしていることは

長岡さん 自然(暑さ・風・雨・雪)を相手に生産しているので管理が大変ですが品質の良いものを安定的に生産して供給できるように努めています。7月に第一小学校の低学年の児童の方が職場体験に来られた時、ピーマンを焼いて食べてもらいましたが「おいしい」と笑顔で言ってもらえたのがとても嬉しかったです。

議会からひと言

基幹産業である農業従事者、新規就農者の安定した運営ができるように今後も継続して支援してまいります。

議会定例会の傍聴お待ちしております

次回の定例会開催は12月5日(木)予定です。

インターネットからでも見るができます。議会のホームページでご確認ください。



お問い合わせは議会事務局へ TEL 0238-87-0527

編集後記

9月7日町民総合センター(あす)を会場にめぐみの里まつり2024が開催されました。昨年の町制施行65周年の記念事業として行われた子ども議会での提案により獅子の共演を実現できました。また、町民参加によるめぐみの里WA踊りも600名以上の町民参加により5年ぶりに開催されました。高円寺から阿波おどり「天狗連」の方々が一糸乱れぬおどりを披露してくれました。来年の開催が待ち遠しい気持ちです。(横山記)

発行責任者

議長 菅野富士雄

発行 広報公聴常任委員会

委員長 遠藤 芳昭

副委員長 屋嶋 雅一

委員 舟山 政男

委員 松山 和好

委員 高橋 勝

委員 横山 清彦